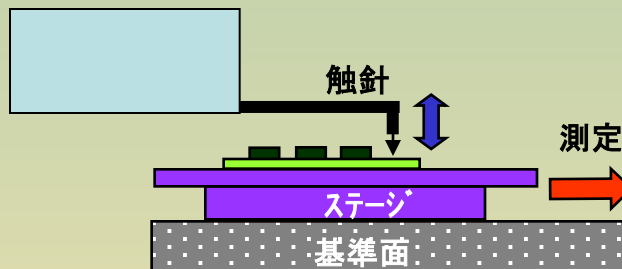


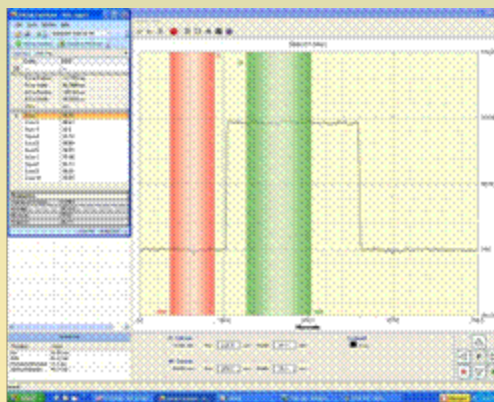
触針法(段差計) Stylus Profiler

<https://www.tsc-web.jp/>

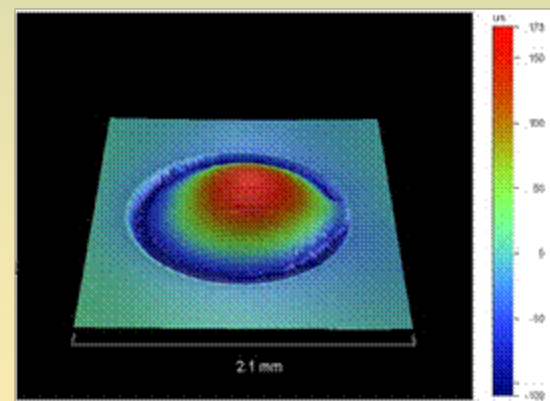
測定原理：先端にサブミクロン～25 μm 半径のダイヤモンドチップを備えた触針で試料表面を走査することで、表面形状（薄膜段差、粗さなど）を計測します。触針の上下変位の検出には差動トランスが使用されることが多く、ナノオーダーからミリオーダーまで幅広いレンジで高さ形状を検出することが可能です。触針が試料表面を直接走査するため絶対精度が高く、操作も簡便なことも触針法の利点です。また、近年の段差計では触針の接触圧力を1mg以下まで制御できるため、従来は測定が難しいとされた柔らかい膜（有機膜等）の測定用途にも使用される機会が多くなっています。



段差計 Dektak150



段差測定例(90nm)



3D形状測定例